

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年4月19日（水）

### 2 確認箇所

3号機原子炉建屋南側ヤード

### 3 確認項目

サブドレンピットNo.40における油分検出の対応状況

### 4 確認結果の概要

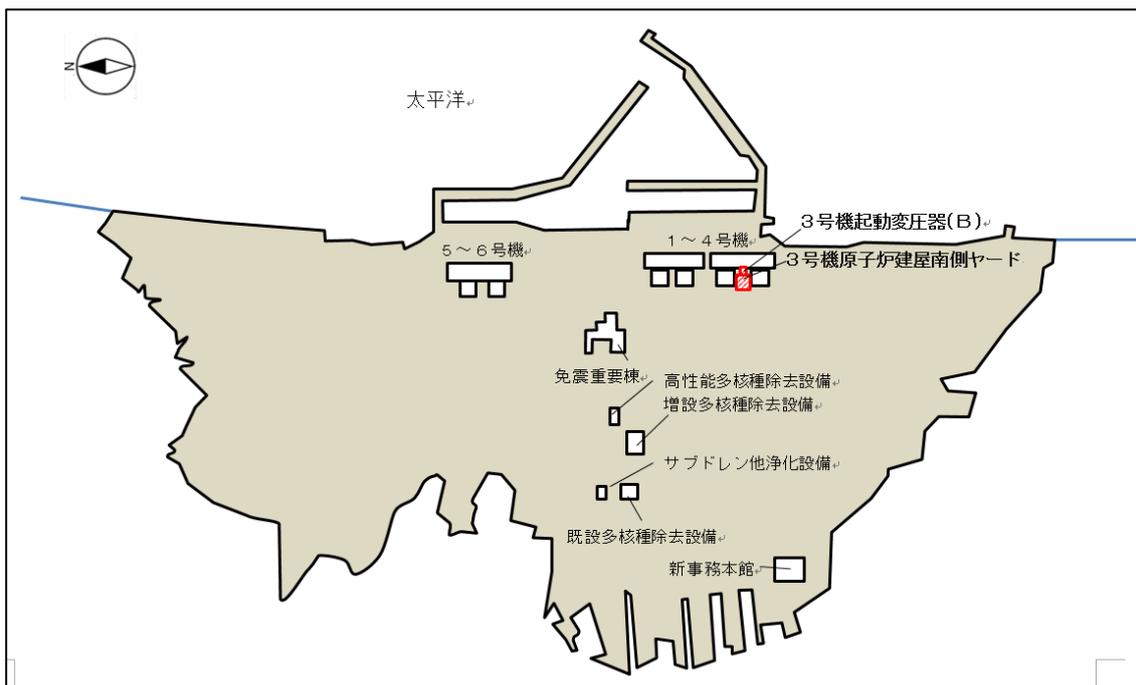
令和4年4月21日に発生した3号機起動変圧器（B）からの低濃度PCBを含む絶縁油の漏えい後、サブドレンピットNo.40において低濃度PCBを含む油分が検出されたことを受け、同日以降、No.40及び近傍のNo.210、No.211のサブドレンピットは運転を停止している。

東京電力では、この停止による建屋への地下水流入量の増加を抑制するため、絶縁油拡散抑制対策（鋼矢板設置、薬液注入等）を行い、No.210及びNo.211の運転を再開することとしている。

今回は、3号機原子炉建屋南側ヤードのPCB含有絶縁油拡散抑制対策の実施状況について確認を行った。（図1）（写真1）

（前回確認：[令和5年1月18日](#)）

- ・ヤード中央部において、鋼矢板設置予定箇所の地面が掘削されており、現場確認時において、クレーン及び鋼矢板を設置するための圧入機が準備され、鋼矢板設置のための作業が行われていた。（写真1）
- ・ヤード東側には、線量低減対策のためのコンクリート擁壁が設置されていた。（写真2）
- ・3号機起動変圧器（B）のPCB含有絶縁油漏えい箇所は養生されており、状況を遠隔で確認するための監視カメラが設置されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
3号機原子炉建屋南側ヤードの状況  
(西側から撮影)



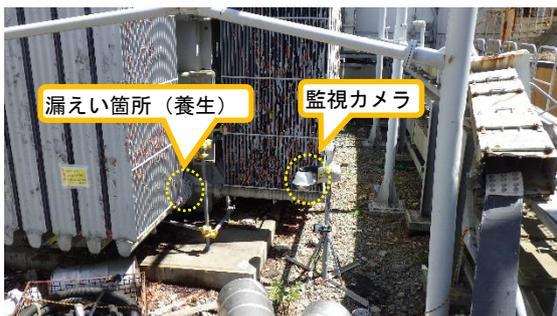
(写真1-2)  
鋼矢板設置予定箇所の地面掘削状況  
(3号機原子炉建屋南側付近)



(写真1-3)  
鋼矢板設置予定箇所の地面掘削状況  
(4号機原子炉建屋北側付近)



(写真2)  
線量低減対策のためのコンクリート  
擁壁遮蔽設置状況  
(ヤード東側、3号機タービン建屋  
西側)



(写真3)  
3号機起動変圧器(B) PCB含有  
絶縁油漏えい箇所周辺の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。